

2021年10月号

女性のためのオーダーメイドカーテン専門店 小松装飾



【カーテンの効果】 防寒効果・保温効果

カーテンが持つ効果ではこの防寒、保温も大きな効果です。

冬の寒い風は「窓」から侵入してきます。

そしてそれを防ぐためにエアコンで室温を快適な温度にしても、今度はその温かい空気が「窓」からどんどん逃げてしまいます。

そんな外からの冷たい空気の侵入経路と、室内の暖かい空気の逃げ道を塞ぐのがカーテンなんです。

カーテンを防寒性・保温性の高いものにすると室内の気温が安定し、快適な環境を保ちやすくなります。

もちろん暖房器具に負担をかけなくなるので、電気代の節約にもなります。

どんなカーテンでも一定の効果がありますが、より高い効果を求めるならカーテンに裏地を付けたり、アクリル樹脂コーティングされたカーテンに替えましょう。

裏地がついているとカーテンと裏地の間に「空気の層」ができるため、空気を逃がしにくくなるんです。
(ダウンジャケットと同じ原理です)

アクリル樹脂コーティングされたカーテンは生地の際間自体を塞ぐので物理的に遮断効果が高まります。



また、このような空気対策を行うと実は「結露」も防げます。

結露は「室内の暖かい空気」と「外の冷たい空気」が窓でぶつかることで起きるんです。

その空気をカーテンが防ぎ、室内の暖かい風が直接窓にぶつからなくなるため、結露が起きにくくなるんです。



【カーテンの効果】 防災効果

カーテンには防災効果のあるものも売られています。

この防災とは「燃えない」という意味ではなく「燃えにくい」という意味ですが、この燃えにくいカーテンが万が一の際に家族や自分の身を守ります。

火事で一番怖いのは「燃焼」です。

そして通常のカーテンはとにかくよく燃えます。

「薄くて面積の広い布地素材」なんてよく燃える要素しかないですね。

ですが、そのカーテンを防災性の高いものにすることで、まず「万が一」が起きにくくなります。

火のついたタバコやちょっとしたボヤがあっても、燃えにくいカーテンならそのまま火事まで至らないこともあります。

通常のカーテンではあっという間に火がついて燃えてしまいますが、防災カーテンなら火が起こりにくいのです。

また、燃えるまでの時間も長くなるので、その間に誰かが異変に気付いて水で消化できる場合もあります。

実際の火災になってしまった際にも防災カーテンは活躍します。



ワクチン接種を終えて

先日2回目のワクチン接種を終えました。

翌日、経営計画書を発表するという予定があったので、副反応が出ない事をお祈りしながらの決断でした。

(私の周りでは副反応で大変な方が沢山おりました。)

幸いにもほとんど副反応も無く生活出来ております。

仕事柄で不特定多数の方と接するので、引き続き感染対策を十分に講じ行動したいと思います。



落ち着いて少しの優しさをもって行動したいものです。

